

市議会だより さつて



3月26日(水)～4月10日(木)権現堂公園幸手桜堤において
第84回幸手桜まつりが開催され、多くの人たちで賑わいました。

3月定例会のおもなことから

- ・平成26年度当初予算を可決……………2～4ページ
- ・各常任委員会での審議……………5～7ページ
- ・市政に対する一般質問……………8～14ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記……………15～16ページ

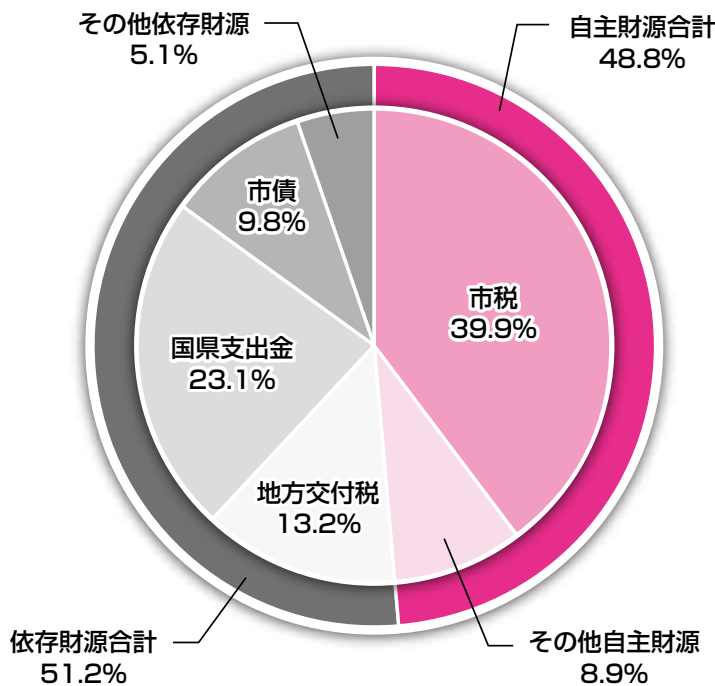
No.70
2014年
5月

平成26年度予算を可決

一般会計 **156億1,000万円** (前年度比 9.2% 増)

予算額構成比

歳入



市税の前年度比較

(単位:千円・%)

区分	平成26年度 予算額	平成25年度 予算額	増減比
市民税	2,960,715	3,016,624	△ 1.9
(1) 個人	2,612,890	2,650,912	△ 1.4
(2) 法人	347,825	365,712	△ 4.9
固定資産税	2,501,283	2,501,644	0
軽自動車税	82,146	80,758	1.7
市たばこ税	408,859	453,989	△ 9.9
都市計画税	273,916	274,966	△ 0.4
合計	6,226,919	6,327,981	△ 1.6

市民税は

マイナス

市税は前年度比1.6%減の62億2691万円
地方交付税は20億6千万円で4.0%の増

平成26年3月定例会は、2月19日から3月18日までの会期で開かれました。市長から新年度の施政方針が述べられ、専決処分の承認1件、平成26年度一般会計、特別会計予算7件、平成25年度の各会計補正予算4件、条例改正など9件と諮問3件が提出されました。会期中の追加議案3件を合わせ全議案とも可決・同意しました。

《自主財源の市税収入》のうち、軽自動車税は前年度比1.7%の増となりましたが、個人市民税は1.4%の減、法人税は4.9%の減、固定資産税は増減0%、市たばこ税は1.6%の減を見込むなど全体では1.6%の減額計上となりました。

平成26年度特別会計

(水道事業を除く)

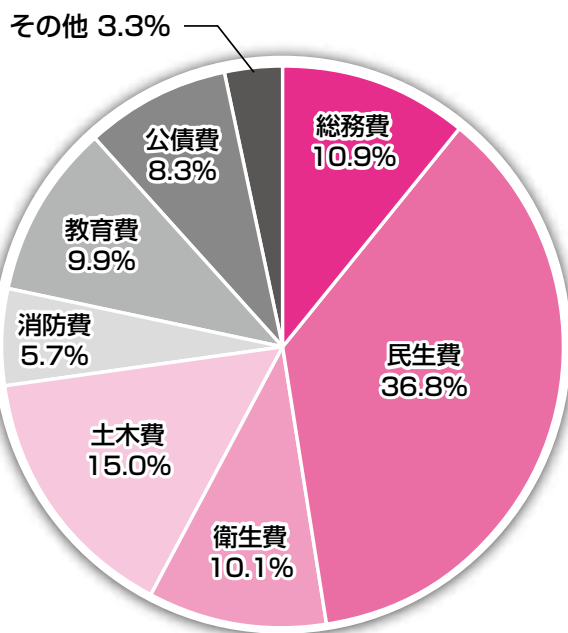
会 計 名	予算額
国民健康保険特別会計	70億5,096万2千円
後期高齢者医療特別会計	4億6,980万4千円
介護保険特別会計	32億518万円
農業集落排水事業特別会計	3,126万3千円
公共下水道事業特別会計	12億4,037万円
合 計	119億9,757万9千円

《地方交付税》総額で20億600万円。うち普通交付税は19億1000万円、前年度比6.1%の増額計上となりました。

《繰入金》財政調整基金から前年度より8000万円増の4億8000万円を取り崩し、歳入予算額構成比の3.2%です。

《市債》総額15億3470万円、主に土木債4億3350万円が計上されました。

予算額構成比 歳出



**民生費が
前年度比2.0%増**

歳出では民生費が前年度比2.0%増の57億4673万1千円で、総額の36.8%を占めています。

「地域福祉計画及び障がい福祉計画」を策定するための経費として、それぞれ210万4千円と286万5千円が、新たに予算計上されました。

さらに、平成27年4月から子ども・子育て支援法の運用が始まるため、「子ども・子育て支援事業計画」策定の委託費250万円が

向けて、事業費総額1800万円が予算計上されました。

また、圏央道関連事業の負担金、幸手IC開通イベントの委託として、9億10009万円が予算計上されました。

総務費については、交通弱者の救済や公共施設への市民の移動を円滑にするため、デマンド型交通システム導入に向け、検討委託費485万円が予算計上されました。

次に、衛生費、教育費、公債費、消防費の順になっています。

計上されました。

また、生活保護扶助費は、生活扶助費の支給3億5420万6千円を始めとして、総額11億6971万1千円です。

次に予算が多いのは土木費で、金額にして23億4160万3千円で、歳出総額の15%を占めています。

賛成討論

本田 諤子議員

駅舎橋上化やし尿処理施設改修等の重点プロジェクト事業、大地震や集中豪雨の災害対策、子どもの教育環境整備等の普通建設事業の大幅増加に対し、国県支出金や交付税措置の伴う市債などの特定財源確保に積極的な努めた予算と評価します。

小林 順一議員

幸手市いじめ問題対策連絡協議会設置条例が上程され、子どもたちが安心して学業に、全ての児童生徒が笑顔で学校に通えるでしょう。公明党は今年度一般会計予算に賛成の意を表します。

大久保 忠三議員

子育て支援では、ウェルス幸手内にキッズテラスの新設、親子プレイルームへの専任指導員の拡充。幸手駅駅舎橋上化工事の設計、旧香日向小学校一階に図書コーナー新設、住宅用太陽光発電システム設置費補助も評価する。

平成26年度 新規事業

一般会計

個人情報ファイルのデータベース化の委託	3,076千円
旧香日向小学校の市民開放のための経費	3,583千円
協働の取り組み推進事業 講師謝礼	300千円
道路照明灯の一斉点検・修繕の経費	15,098千円
生活道路ゾーン30設置の工事	3,201千円
デマンド型交通システム導入計画検討の委託	4,850千円
地域福祉計画策定の経費	2,104千円
障がい福祉計画策定の経費	2,865千円
子ども・子育て支援事業計画策定の委託	2,500千円
キッズテラス整備の経費	1,032千円
ふれあいcafeコーナー整備の経費	69千円
三世代子育て教室開催の経費	93千円
健康長寿サポーター育成の経費	300千円
在宅医療体制整備の経費	7,776千円
生ごみ処理機購入費の補助	360千円
住宅用太陽光発電システム設置費の補助	2,400千円
し尿処理施設基幹的設備改良の工事	330,525千円
し尿処理施設取水設備改修の工事	21,600千円
島中領地区特定農業用管路の特別対策の負担金	113千円
北1丁目の水路補修の工事	4,123千円
商店街街路灯LED化費用の補助	1,674千円
市内回遊型観光推進のための経費	2,663千円
市道455号線用地の購入（中3丁目）	5,603千円
市道2-1号線改良の工事（外国府間）	18,425千円
国道4号バイパス4車線化に伴う市道改良の工事	21,070千円

幹線道路の舗装の点検	2,835千円
大中落の改修（下川崎）	46,800千円
排水ポンプ場整備の工事（東2丁目）	20,000千円
幸手駅西口用地の購入	63,563千円
幸手駅西口土地区画整理事務所運営の経費	1,214千円
幸手駅駅舎橋上化 調査・設計の委託	14,249千円
幸手駅駅舎橋上化 建築行政手続の負担金	3,599千円
幸手に開通イベントの委託	10,000千円
地域防災計画策定の委託	5,400千円
長倉小学校の校舎増築の工事	121,122千円
幸手中学校の校舎トイレ改修の工事	42,500千円
幸手小学校の校舎大規模改修工事の設計	12,204千円
学力向上に向けた研修・研究の経費	2,000千円
いじめの防止等のための基本的な方針策定の経費	287千円
市の歴史資料運搬の委託	5,500千円
文化財案内板の設置	247千円
旧香日向小学校図書コーナー運営の経費	10,813千円
体育協会50周年記念事業の補助	1,000千円
国際ジュニアサッカー大会の記念品	11千円

特別会計

ジェネリック医薬品利用差額通知の経費	109千円
介護保険事業計画策定の委託	5,500千円
軽度認知障害スクリーニングテスト使用料	540千円
幸手中央地区産業団地造成に伴う下水道管の工事	263,196千円
水道管路耐震などの更新計画策定の委託	8,586千円
幸手中央地区産業団地造成に伴う水道管の布設替えの工事	184,000千円

開館時間
の延長など
の市民サー
ビスの向上、
経費削減の
ため図書館
の指定管理



図書館の指定管理者導入
に向け設置条例の改正を
可決

国の「いじめ防止対策推進法」
の成立をうけ、市に協議会を置く
ことになり、いじめの撲滅に向け、
過度のいじめは刑事事件とし対処
していく整備などが行われます。

いじめ問題対策連絡
協議会設置条例を可決

国の補助事業を活用し、上高野
小の大規模改修を本年度の夏季休
業時に行います。工事内容として
は防水工事、外壁塗装工事、受水
槽布設替え工事、トイレ改修工事、
職員室LED化工事などです。

上高野小大規模改修費
2億6162万円

人事案件

者導入に向けての条例改正を可決
しました。平成27年度の導入に向
け検討していくとのこと。な
お、時期尚早との反対討論があり
ました。

固定資産評価審査

委員会委員

金子 和彦 氏

を選任することに同意しました。

人権擁護委員

新井 和博 氏

小林 弘和 氏

小林 達郎 氏

の推薦に同意しました。

教育委員会委員

山西 実 氏

を任命することに同意しました。

総務常任委員会

平成26年度幸手市一般会 計予算 (議案第13号)

問 土地開発公社所有地購入費2916万1千円の購入場所と単価は。

答 南2丁目地内スーパーベルク付近。2筆あり宅地69平方メートルと宅地8・38平方メートル。平方メートルあたり約37万6千円。

問 基金の内容は。

答 財政調整基金は当初予算で4億8000万円取り崩し基金は約9億2600万円、公共施設整備基金12億3500万円、土地開発基金2590万円、減債基金2億9190万円、学校教育施設整備基金5490万円、地域福祉基金2920万円。

問 幸手市の使用料・手数料の消費税率の増額は。

答 消費税の増税についての使用料・手数料は値上げはしない。

問 指定管理をしている施設の利用料は。

答 施設の利用料については条例で定めており、条例の範囲内で利用料金が定められる。

問 歳入歳出156億1000万円の当初予算に対する予算編成時の要求額は。

答 平成26年度当初予算は各課の要求を取りまとめた数字は約170億円。

平成25年度幸手市一般会 計補正予算 (第5号) (議案第9号)

問 個人市民税の補正額1886万4千円の増額と法人税1204万1千円の減額理由は。

答 個人の増額補正としては、分離課税分が当初予算と比較して調定額が大きく伸びた。一方、法人税割額が調定額を大きく落ち込んだため。

問 し尿処理施設基幹的設備改良事業における補助金対象額と杉戸町の負担金は。

答 国庫支出金は平成26年度1億3270万円、平成27年度1億9345万4千円、地方債は平成26年度1億5850万円、平成27年度は2億3790万円の財源を試算しており、杉戸町の負担金は、平成25年度で、し尿処理に係る経費の約33%程度の負担割合となる。

平成25年度幸手市一般会 計補正予算 (第6号) (議案第22号)

答 土木費の都市計画道路整備事業、教育費の幸手中学校トイレ改修事業。

問 普通交付税の補正額に対して調整率を掛けない理由は。

答 普通交付税については、毎年度7月に決定され、基準財政需要額に調整率を乗じて割り落されるが、今年度に限り国税等が増収したことから基準財政需要額と基準財政収入額の差で交付。

問 繰越明許費補正の中で当初予算と重複計上している事業は。

で協議された。

問 学童保育室を中学校の敷地内に開設するのは初めてのケース。運営上、問題はないか。

答 管理運営については当該中学校長、教育委員会と十分協議し、覚書も結ぶ。小学生と中学生の接触等の危険を避けるため、専用の出入口を作るなど、動線を分ける措置も行っており問題ないと考えている。

幸手市学童保育室設置条 例の一部を改正する条例 (議案第4号)

問 新設される学童保育室「たいよう」の利用人数、現たんぽぽ学童保育室に通室する児童の分割基準は。

答 利用人数は概ね40人。長倉地区の一部の子どもたちが利用する。区域分割は学童保育室開設準備会

文教厚生常任委員会

幸手市いじめ問題対策 連絡協議会設置条例 (議案第5号)

問 協議会の構成メンバーは。

答 副市長を会長とし、教育委員会、市の担当部長、学校、PTA、青少年育成に係る地域の組織、警察、保健所、児童相談所、法務局などの代表、学識経験者など25名以内で構成する。

問 協議会の設置目的は。

答 いじめ対応は基本的には学校だが、学校では解決できない事案、重大事案などに対応する。



問 協議会の果たす役割は。

答 幸手市いじめ防止基本方針の策定、いじめの未然防止、施策の推進などで、市のいじめ問題対策の責任体制の最上位の機関である。

問 協議会の議事の公開性は保たれるべきと考えるが。

答 個人のプライバシーについては守秘義務を厳守。しかし、会議を完全秘密会にはしない。

幸手市図書館設置条例の 一部を改正する条例 (議案第7号)

問 指定管理のメリットは。

答 開館日を増やし、開館時間の延長が可能になる。このほか司書の配置率向上で図書に対するレファレンス(問合せ)にもスムーズに対応できるものと期待している。運営経費の縮減も含めた提案ができる事業者を選定したい。

問 行政では利便性を高めることができないと考える理由は。

答 勤務時間や人事異動などの問

題で、利便性や専門性を高めることが難しい。

問 指定管理者の選定方法は。

答 市の図書館のあり方に関する基本方針や仕様を提示する。それに基づいてプロポーザル方式で業者の提案を受ける予定。

問 申し込みが1社でも選定するということか。

答 検討委員会で検討することになるが、1社でも市の仕様に見合ったものであれば指定管理者とすることもある。

問 指定管理者の決め方として1社での選定に疑問を持っている。その点はどうか。

答 応募が1社しかなかった場合でも、検討してこれでよいということであればお願いする。

問 それでは比較する対象もなく、客観性がないのでは。

答 この件は実際に業者の選定がなされる段階で審議いただくことになる。

問 本の選定は誰が行うのか。

答 指定管理者である。

問 図書館業務は教育の一部であり、市の情報発信源である。市民アンケートの数字、委員会の質疑からも指定管理導入は時期尚早ではないか。

答 教育委員会としては進めて行きたい。

平成26年度幸手市一般会 計予算 (議案第13号)

問 地域デマンド交通検討業務委託料の委託内容は。

答 現況調査、ニーズ調査、運行計画の検討、地域公共交通会議の運営支援、国の補助金申請、報告書作成などである。

問 現状把握から補助申請までか。仕事の丸投げではないか。

答 専門的な知識も必要になるため、職員だけでは難しい部分もある。丸投げではなく、委託業者と一っしょに進める。

建設経済常任委員会

問 平成27年度は市内循環バスの業務委託が終了する。循環バスは廃止か、併用するのか。

答 見直しは今後の検討課題。27年度は延長して併用する。

問 ワークショップ型の市民との協働は行うのか。

答 公共交通を見直し、デマンドバス・タクシーの導入等を検討す

るもので、地域公共交通会議の意見を得て進めていきたい。

問 消防費庁用器具費のうち、福祉避難所用の庁用器具費とは。

答 さくらの里、なのはなの里、老人福祉センターを障がい者や高齢者が避難できる施設として整備する。高齢者用簡易ベッドや車椅子等の購入費用である。

平成26年度幸手市一般会計予算 (議案第13号)

問 商店街街路灯LED化推進事業補助金と、国のまちづくり補助金との関連は。

答 まちづくり補助金は国の補助事業で商店会のLED街灯への改修に対し事業費の3分の2を補助する事業である。これに対して2つの商店街と1つの環境整備組合から申請が出された。

この内の2つの商店街はまちづくり補助金の対象になる。事業費

の残りの3分の1を県と市と商店街が3分の1ずつ負担する。

もう1つの環境整備組合は国のまちづくり補助金の対象にならないので、市が4分の3を負担、残りの4分の1を組合で負担する。

問 幸手駅西口用地購入費の内容は。

答 東武鉄道の3番線跡地を公園として整備するための費用である。また、西口区画整理の地元の減歩緩和にも役立てる予定。

問 幸手観光資源発掘事業業務委

託の内容は。

答 新しく幸手市の観光マップを、作成する。今までの観光マップを見直して、飲食店の情報や町なかにある歴史的な資料を入れていく。

平成26年度幸手市水道事業会計予算 (議案第19号)

問 第2浄水場自家発電機設備更新工事の内容は。

答 第2浄水場にある自家発電設備が古くなり、かつ発電容量が少ないことから、現在あるディーゼル発電機からガスタービン発電機に更新する工事である。この工事により給水の安定供給が図られることと考える。

また、この発電機を24時間継続して動かすための軽油の地下タンクの建設と周辺機器の設置をすることである。工事期限は平成27年2月25日、耐用年数は、40年と考えている。

平成25年度幸手市一般会計補正予算 (第5号) (議案第9号)

問 公園施設安全安心対策計画策

定事業の内容は。

答 国の指針により約10年を目安に、市内21の都市公園内の遊具や水飲み場などすべての施設の長寿命化を図る事業である。

平成25年度幸手市一般会計補正予算 (第6号) (議案第22号)

問 橋梁修繕工事の内容は。

答 橋梁長寿命化修繕計画に基づき優先順位の高い7つの橋、玉子橋、吉田橋、1831号橋、1833号橋、218号橋、居砂橋、高平橋を計画的に修繕する事業である。

平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算 (第3号)(議案第23号)

問 補正で追加された下水道事業の経緯は。

答 平成25年度当初の国への補助申請の補助額が満額つかなかった部分だが、今回補助申請をして補助金がついた。それにより、当初予定した事業を行う。

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が2月20日、21日、24日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 子育て世帯臨時特例給付金について
- 地域包括ケアシステム構築について

本田謡子議員

- これからの防災について
- 働くお母さんに対する子育て支援について
- 人間ドック・脳ドックの検診費用一部助成について

松本章議員

- 空き家条例の施行に向けて
- 光熱水費値上げへの対応について
- 駅西口区画整理事業について

小河原浩和議員

- 都市計画道路 杉戸幸手栗橋線の整備について
- 国道4号線バイパスの4車線化について

小林順一議員

- 地域経済の活性化について
- 空き家管理条例制定の進捗状況について

松田雅代議員

- 香日向小学校問題について
- 幸手市の教育課題について

中村孝子議員

- 東部消防組合について
- 駅西口地区土地区画整理事業について
- 本庁舎整備事業について

大久保忠三議員

- 平須賀地内のシート洗浄工場について
- 集会所等の安全対策について

宮杉勝男議員

- 市で使用している備品について
- 生徒指導における学校と警察の連携について
- 将来の治水対策について

小林英雄議員

- 交通渋滞の緩和について
- 桜まつりについて

小島和夫議員

- 道路問題について
- 財政問題について

木村治夫議員

- 国民健康保険事業の医療費の適正化について
- 市地域防災計画の民生安定のための措置について
- 防災士について
- 農業の振興について

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。



本田謡子議員

働くお母さんの子育て支援策と現状と対策は

A

働くお母さんへの支援策については、保育所、学

Q

幸手市は「子育てしやすいまちづくり」を目指している。その中で、就学前の子どもがいる働くお母さんの子育て支援策と、就学児童のいる働くお母さんの子育て支援策に、それぞれの現状と対策を伺う。

働くお母さんへの支援策については、保育所、学童保育室、一時保育、ファミリーサポートセンターがある。保育所については、国の子ども・子育て支援新制度に対応するため、今年実施したニーズ調査の結果を踏まえ、市内私立幼稚園や保育所と十分な連携を取り、保育所の運営方法等を検討していきたい。また、現在、「たつまき学童保育室」については、在籍児童が多いため、今後、さくら小学校内に開設することを検討していきたいと考えている。



(健康福祉部長)



小林啓子議員

子育て世帯臨時特例給付金の対象・支給額は

Q

平成25年度幸手市一般会計補正予算において、子育て世帯臨時特例給付金が計上された。

これは、国の平成25年度補正予算において、公明党が反映させた内容である。幸手市の支給対象者及び支給額について伺う。また、実施方法及び支給月に

A

についても伺う。

支給対象者は、平成26年1月分の児童手当の受給者である。ただし、平成25年中の所得が児童手当の所得制限を超える高所得者や、臨時福祉給付金の対象者は除かれる。支給額は、対象児童一人につき1万円を一回限り支給する。実施方法及び支給月については、県の説明会の内容を精査し、関係部署と連携を図りながら、

給付事務を円滑に進められるよう検討し、7、8月頃からの支給を考えている。



(健康福祉部長)

値上がりする光熱水費の対応は



松本章議員

Q このところ、光熱水費の値上がりは家計を圧迫している。

市の財政に関しても平成24年度決算で約1億9千万、平成26年度予算では約2億1千万となっている。東京電力は夏までに原発が稼働しないと更なる値上げをすると話している。そこで(1)光熱水費について市の考えを

伺う。
(2)対応策として「節電」「PPS事業者と契約」「自ら発電する」が考えられるがいかがか。

A 光熱水費の値上がりは、原油価格等の高騰に伴うものと考えている。さらに、消費税率の改正による影響も懸念される



ため、引き続き、照明の間引き点灯や、OA機器のパワーセーブ機能を用いて、より一層の省エネに努めていく。
これからの対応についても、引き続き、電気製品の省エネを考慮した運用や、公用車のアイドリングストップ機能付きの低燃費車の導入に加え、PPSの導入についても、削減率等でメリットの出る施設について検証を進め、対応していく。

(総務部長)

杉戸幸手栗橋線の早期着工を望む



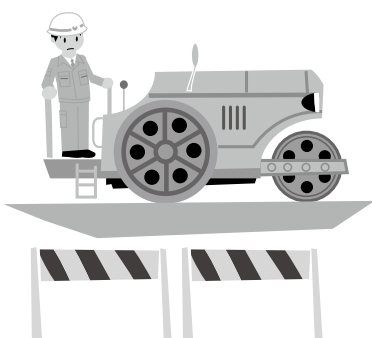
小河原浩和議員

Q 都市計画道路杉戸幸手栗橋線は、幸手市の西側地域を南北に縦断し、久喜新道や御成街道、今後できる西口停車場線や圏央道の側道三ツ家慶作線など、多くの主要幹線とも交差する幸手市の将来を左右する大変重要な道路と確信する。用地買収や整備状況、地元説明会等の進捗状況及び今後の整備方

A 杉戸幸手栗橋線は、県道加須幸手線から市道1-5号線までの区間が供用開始されている。その他の区間は、線形を確定する測量を実施している区間もあるが、現在のところ、未整備となっている。
今後の整備方針として、まずは、幸手駅西口区画整理事業により整備する区間を最優先で行う。その他の区間については、

針を伺う。

圏央道の開通により市内の道路状況が大きく変わることが予想されるので、こうした状況を踏まえ、早期整備に向け取り組んでいきたい。(建設経済部長)



地域経済を活性化させるには



小林順一議員

Q 幸手市の経済を活性化させるには、市内の農家、商工業を営まれている皆さんが安定した経営を継続すること、市民の皆さんが市内で買い物をしていただき、また、他県他市町からの幸手市特有の観光資源、物産をフルに活用して人を呼び込む工夫をすべきである。

そこで、さくらファームの運

営状況と、幸手市の経済活性化に課題があれば伺う。

A さくらファームのオープン後11か月間の来客数は14万2千人。単なる野菜直売所としてではなく、観光物産販売所として引き続き各商品の品質の向上と、農商工連携による6次産業化による特産品の開発・販売で売上の増加を図っていく。

地域経済の面では、今後、圏央道幸手ICの開設、産業団地

への企業進出、駅橋上化や自由通路の開設等駅周辺の整備をすることにより、流入人口の増加が見込まれている。これらの人々をいかに経済活動へ結びつけていくのが課題である。

(建設経済部長)



香日向小跡地利用に早急に三者協議の場の設置を



松田雅代議員

Q 旧香日向小学校は、4月から地域の「複合的施設」として運用が始まる。管理する担当課が分散するため、住民、市民が施設管理の全体像を知ることが難しい状況にある。

そこで、駐車場問題の現状と、本契約以外に締結した契約・覚書等があれば伺う。

また、今後、地元組織、市、

橋心学園の三者間で必要に応じて協議のできる場及び責任などについて取り交わす覚書の予定があれば伺う。

A 駐車場の現在の計画では、校舎北側駐車場の約半分を講師、来客者の駐車場として約10台程度分を貸し付けし、4月から契約する予定である。また、校外には、職員及び学生用として70台規模の駐車場の確保が見込まれている。

賃貸借契約以外に取り交わした正式文書はないが、防災面や地域貢献、地域環境配慮などの覚書を取り交わしたいと考えている。今後、



地元組織、市、橋心学園の三者間で協議をする場を設けるために協定を結びたい。

(総務部長)

消防広域化の成果は出ているか



中村孝子議員

Q

埼玉県東部地区の消防広域化は、負担金問題等数々の協議を重ね、昨年東部消防組合として発足した。一年を経過し、消防救急における広域化の成果をどう認識しているか伺う。

A

埼玉東部消防組合は平成25年4月1日に発足以来、

組合議会をはじめ、各種事業については、順調に執行されていると聞いている。こうした中、災害対応については、火災などの災害に対し、スケールメリットを活かすことで、第一段階で出動する隊員や車両数を増やすことができ、初動態勢が強化された。

また、平成26年度には、消防本部に消防指令センターの設置と消防救急無線のデジタル化を図ることにより、一層の消防体

(市長・市民生活部長)



各地域にある集会所等の耐震調査を



大久保忠三議員

Q

幸手市業務継続計画「地震編」では、想定する地震は、茨城県南部とし、震度は5弱から6弱。死者も2～4人、負傷者は100人前後となっている。

このような数値が示されると、約30年前に建設した各地域の集会所等の耐震が心配される。会議等に使用する施設の安全を考

A

各集会所の耐震調査が行われているかは把握していない。

昭和56年に建築基準法施行令が改正され、それ以降に建設された集会所は38か所あり、これらは、この耐震基準に基づき建設されたものと考えている。

今後、建築後相当程度経過した集会所も多く、修繕等が必要

になっているものもあると考えており、「幸手市集会所整備事業補助金交付要綱」を定め、増改築や修繕等の際に補助金を交付できるよう準備中である。

(市民生活部長)



抜本的な治水対策を



宮杉勝男議員

Q

東日本大震災以降、国では防災対策に力を入れ、国会ではいろいろな対策方法が検討されてきた経緯がある。そして幸手市でも現在までさまざまな治水対策を行ってきたわけだが、解決に至らない

状況である。そこで、抜本的な治水対策を、市の予算だけで行うことが難しい状況下の中、国や県の力を借りることができないか伺う。

なお、幸手市の状況改善に該当するような補助金等が、省庁にあるのか併せて伺う。

と幸手市が連携を図り、効果的な整備促進に向けた事業間の調整を目的とした河川・下水道事業調整協議会を設置して具体的な問題点を協議し浸水被害の軽減に努める。

計画された治水対策事業については、国の補助事業である下水道浸水被害軽減総合事業の拡充である、社会資本整備総合交付金「防災・安全交付金」の支援事業を活用した治水対策に努めていく。

（水道部長）

交通渋滞の緩和対策は



小林英雄議員

Q

広域農道と県道境・杉戸線との交差点（東農村文化センター前信号）で交通渋滞が発生している。この交差点の近くに、26年度には圏央道が開通し、その後、産業団地もできる。まちがいなく交通量は

増え、交通渋滞も今よりも増えると考えられる。杉戸方面から来た車が、この交差点を境方面にスムーズに右折できないことが原因と考えられる。そこで、交通渋滞を緩和する対策として右折車線の増設・時差式・矢印信号の設置について伺う。

現在、広域農道から県道境・杉戸線への右折車両の影響で、たびたび交通渋滞を引き起こしており、交通渋滞緩和のため、指摘のとおり、広域農道に右折車線の増設が必要と思われる。

そのため、今後関係機関と対応方法を含め調整し、検討していきたいと考えている。

また、時差式・矢印信号の設置については、右折車線の交差点改良工事が見込めた段階で、所轄である幸手警察署を通じ、埼玉県警察本部と協議していきたいと考えている。

（建設経済部長）

幸手・五霞線の早期開通にむけて



小島和夫議員

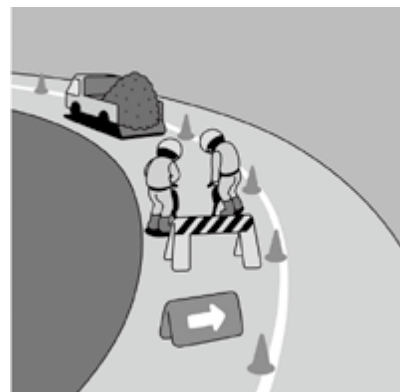
Q 幸手・五霞線の進捗状況と、いつ開通できるのか、また中川の橋梁工事はいつ始めていつまでに完成するのか伺う。

A 幸手・五霞線の未整備区間950mは、埼玉県が事業主体となり整備を進めている。進捗状況については、平成25年12月末現在において用地買

収率は55%と聞いている。

また、中川の橋梁工事については、共同事業者である茨城県と協定の締結にむけて、協議を進めていると聞いている。

このようなことから、開通時期については、現時点ではお答えできない状況であるが、早期に開通できるよう県に要望していきたい。（建設経済部長）



地域防災力向上のための防災士の育成は



木村治夫議員

Q 3・11以降、市民の防災意識は急速に高まったものの家庭、職場、地域での防災への取り組みは必ずしも効果的に進んでいるとは思えない。市として、地域の安全・安心のまちづくりを強力に推し進めるうえで、防災士の育成は喫緊の課題であると考えますが、市の対応は、また、地域防災に係わる各

種団体、各自主防災組織、消防団、防災士、そして行政との連携した、ネットワーク組織を早急に構築することが重要である。市として取り組む考えは。

A 減災および地域防災力向上のためには、十分な知識、技能を有する防災士の育成は、極めて重要なことと認識しており、職員に防災士の資格を計画的に取得させているが、自主防災組織からも防災士を育成

できるよう計画していく。また、地域防災にかかわる各団体の連携は災害対応において、必要不可欠であると考えているので、さらに自主防災組織の設立を推進しながら、区長会や消防団とも協議し、各地区および市全体としての組織づくりを進めていきたいと考えている。

（市民生活部長）



議会運営委員会で先進地を視察研修



平成26年1月29日(水)・30日(木)
議会改革の取り組み

神奈川県藤沢市 議会報告会について
神奈川県小田原市 議会基本条例について

3月定例会 会期日程

2月19日(本会議)

- ・開会・会期の決定・報告事項

- ・市長提出議案一括上程、提案理由説明

2月20日・21日・24日(本会議)

- ・市政に対する一般質問

3月3日(本会議)

- ・議案に対する質疑・議案の委員会付託

3月4日・5日(委員会)

- ・文教厚生常任委員会

3月6日(委員会)

- ・総務常任委員会

3月10日(委員会)

- ・建設経済常任委員会

3月18日(本会議)

- ・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

6月定例会のお知らせ

6月2日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp>

3月定例会

傍 聴 者					
33人の方が傍聴されました。					
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。					
1月	526件	2月	1036件	3月	1822件
の方が視聴されました。					

平成26年3月定例会 提出された議案の結果

(市長提出議案) 先進…先 公明党…公 改革…改 新政会…新 自民党…自 明政…明 民主党…民 社民党…社 無所属…無 (○:賛成 ×:反対 退:退席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	本会議 議決結果
		1 松田 雅代(先)	2 小林 啓子(公)	3 本田 諤子(改)	4 小河 原浩(改)	5 小林 英雄(新)	6 木村 治夫(自)	7 宮本 勝男(新)	8 松本 章(新)	9 中村 孝子(先)	10 小林 順一(公)	11 藤沼 貢明	12 手島 幸成(民)	13 小島 和夫(明)	14 武藤 書男(無)	15 大久保 忠三(社)		
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(専決第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第2号	幸手市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第3号	幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第4号	幸手市学童保育室設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第5号	幸手市いじめ問題対策連絡協議会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第6号	幸手市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第7号	幸手市立図書館設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第8号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第9号	平成25年度幸手市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第10号	平成25年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第11号	平成25年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第12号	平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第13号	平成26年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第14号	平成26年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第15号	平成26年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第16号	平成26年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第17号	平成26年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第18号	平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第19号	平成26年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第20号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第21号	幸手市地域福祉計画策定委員会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第22号	平成25年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第23号	平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第24号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—	賛成多数同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	×	×	○	○	○	退	○	○	×	×	×	○	×	○	○	—	賛成多数同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

議会広報編集委員

委員長 武藤 幸成
副委員長 手島 忠三
委員 大久保 浩和
委員 小河原 治夫
委員 木村 和子
委員 小島 啓子
委員 小林 雅代
委員 松田 章
委員 松本

編集後記

風薫るさわやかな季節となりました。市内の肥沃な田・畑が、利根川の清水により田植え真盛りです。水田の色彩が灰色から緑色に変わってゆく緑豊かな街、自然に親しみ感謝し、豊かな心をはぐくむことでしょう。市民の食に対する関心が高まるなか、生産者の努力により安全・安心なおいしい幸手産農産物が提供されています。生産現場と市民の交流により土に親しみ、食べて安心な昔野菜の復活を願うとともに、地産地消しましょう。